

平成 20 年度燧灘卵稚仔調査

第 5 回

平成 20 年 6 月 13 日

カタクチイワシ卵の出現状況（燧灘）

前回より大きく減少したが、前年同期及び平年値（6.59 個 / 曳網）と比べると増加した。

前年	平成 19 年 6 月 20 日（17 点の平均）	2.12 個
前回	平成 20 年 6 月 2 日（6 点の平均）	37.33 個
今回	平成 20 年 6 月 12 日（17 点の平均）	13.24 個

カタクチイワシ稚仔魚の出現状況（燧灘）

前回及び前年同期より増加した。

前年	平成 19 年 6 月 20 日（17 点の平均）	0.59 尾
前回	平成 20 年 6 月 2 日（6 点の平均）	7.00 尾
今回	平成 20 年 6 月 12 日（17 点の平均）	12.59 尾

プランクトン調査（燧灘）

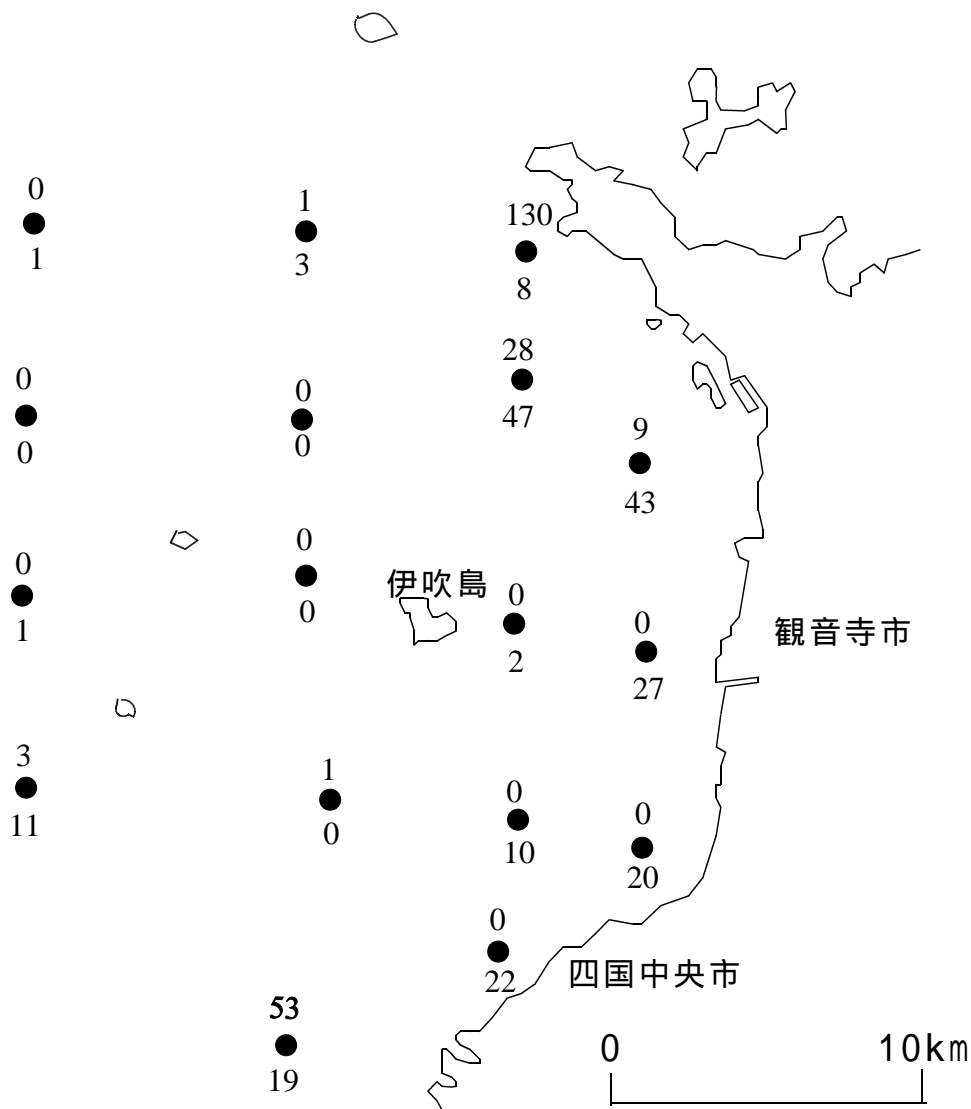
全定点を通じて優占種はノクチルカ（夜光虫）、ウミタル及び管クラゲ類であった。餌として価値のあるカイアシ類は非常に少なかった。

魚探調査（燧灘）

円上島北西部の海域で魚群を確認した。

次回の調査は 7 月 1 日（火）の浅海定線調査に合わせて実施予定

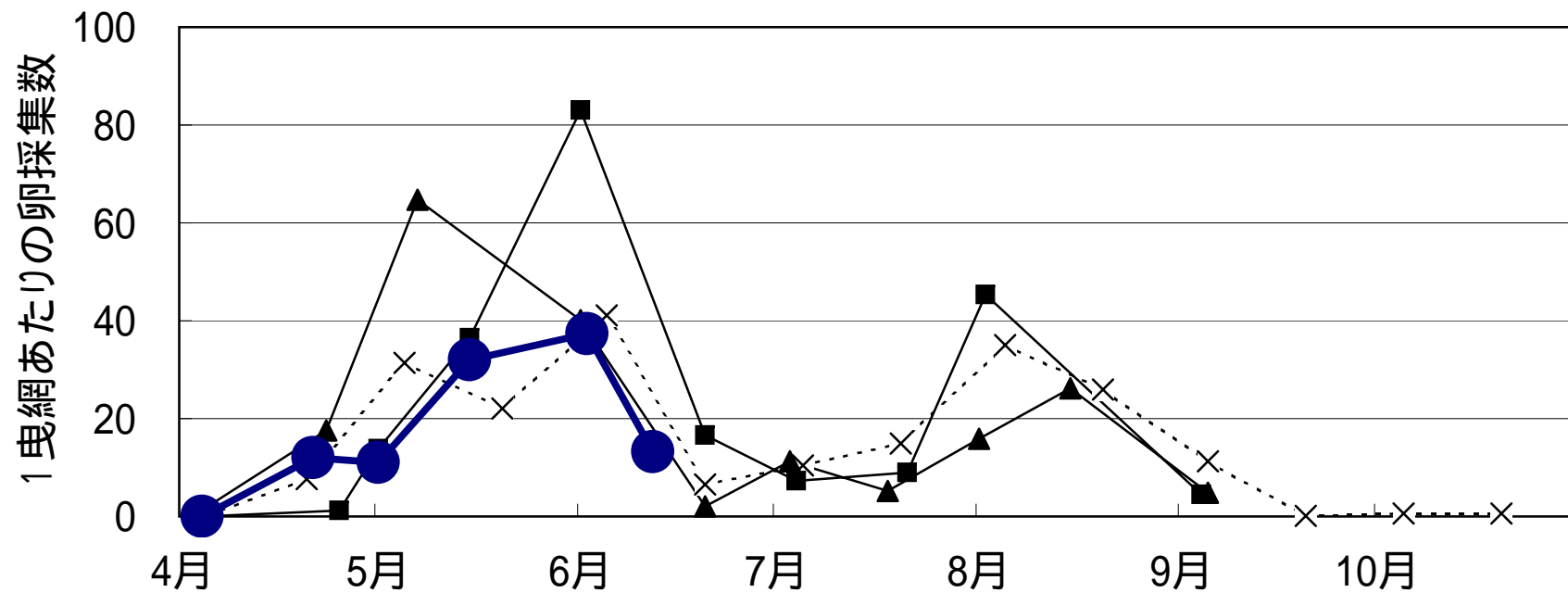
カタクチイワシ卵稚仔採集状況 (6.12)



凡例

の上側はカタクチ卵数
 下側はカタクチ稚仔数を
 示す。いずれも1曳網
 当りの数

1	1	卵数
0		稚仔数



燧灘におけるカタクチイワシの卵出現状況

...x... 平均値 (H5-H19) —■— 平成18年 —▲— 平成19年 —●— 平成20年

平成20年度燧灘カタクチイワシ卵稚仔調査(5回目)

6月12日

S T	曳網水深(m)	表水温()	カタクチ卵	マイワシ卵	その他卵	カタクチ稚仔	マイワシ稚仔	その他稚仔
H 1	20	22.8	130	0	16	8	0	8
H 2	20	22.6	28	0	11	47	0	32
S 1	20	22.6	9	0	3	43	0	30
S 2	20	22.6	0	0	5	27	0	24
H 3	20	22.6	0	0	7	2	0	5
S 3	20	22.3	0	0	13	20	0	13
H 4	20	22.6	0	0	3	10	0	11
H 5	20	22.4	0	0	59	22	0	14
S 10	20	23.1	53	0	32	19	0	13
H 6	20	21.9	1	0	1	0	0	3
H 7	20	21.6	0	0	1	0	0	1
S 7	20	20.6	0	0	4	0	0	2
S 11	20	21.1	1	0	2	3	0	1
S 12	20	20.9	0	0	3	1	0	5
S 13	20	20.9	0	0	7	0	0	1
S 14	20	21.2	0	0	4	1	0	2
S 15	20	22.1	3	0	4	11	0	7
合計			225	0	175	214	0	172
6点平均		22.3	4.8	0.0	13.7	13.5	0.0	11.0
平均		22.0	13.24	0.00	10.29	12.59	0.00	10.12

6点平均は浅海定線調査を行っているH2～H7の平均